

長岡崇徳大学教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)

新カリキュラム対応 (2026 年度以降)

編成の基本的考え方

1) 豊かな人間性と倫理観を身につけ、共感的理解をもって行動でき、思考力、創造力を高めること、また、人々を取り巻く社会環境について理解を深め、幅広い学際領域の知識の応用と社会力を向上させるために【基礎教育科目】を全学年にわたって配置している。また、異文化を理解する能力を高めるために1年時に「異文化論」を学修する。そこで培った「崇徳」の理念や倫理観を看護専門科目および看護学実習を通して、更に理解を深める。【ディプロマ・ポリシー1】に対応】

2) 看護実践の科学的根拠となる人々の健康と疾病の理解を深め、あらゆる発達段階や健康レベルにある人々への看護実践の学修につなげられるように、【専門基礎科目】として「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復促進」に関連する科目を1・2年次に配置している。また、保健医療福祉における看護職者の位置づけ及び役割の法的根拠を学修するため2年次後期に「看護関係法規」を配置している。【ディプロマ・ポリシー2】に対応】

3) 看護実践に必要な知識・技術・態度を修得する【専門科目】では、「長岡地域生活者交流実習」を1年次前期に配置することによって看護学への動機づけとしている。また、看護の基本的な考え方や援助方法に関する「看護学概論」「基礎看護援助論Ⅰ～Ⅵ」「看護過程」「基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ」を1・2年次に配置している。さらに、それらの科目で得られた知識・技術をあらゆる発達段階の健康レベルにある人々の看護実践の理解につなげるために2・3・4年次に「生涯発達と看護」「地域社会と看護」を配置し、さらに臨地実習を通して段階的に看護実践能力の向上を図る。【ディプロマ・ポリシー2】に対応】

4) 保健医療福祉および介護領域において、看護職者の専門性を自覚し、多職種間で連携、協働できる能力を修得するために、1年次に「チーム医療論」を配置している。さらに、地域を基盤とした看護活動の考え方を学び、公的ヘルスケアサービスにおける連携・協働力を高めるために「公衆衛生看護学概論」を2年次前期に配置している。2年次に各領域の看護学概論、援助論の講義・演習において理解を深めたことを受け、3年次では保健・医療・福祉・介護施設での臨地実習を通して連携、協働の体験的学び、進歩・変化の著しい保健医療分野の動向と課題について、健康と社会システムに関する科目として「保健医療福祉行政論」を配置している。4年次では「統合実践実習」において医療機関・施設との連携や多職種連携の実際を体験的に学習することによって、連携・協働力の涵養を図る。【ディプロマ・ポリシー3】に対応】

5) 看護や医療への関心を深め、看護学を探究し続けるために、1年次から4年次まで段階的に科目を配置している。1年次に「情報リテラシー」「情報活用法」、3年次に「統計分析法」「看護学研究法」を配置し、看護研究の基礎を学修する。さらに4年次の「卒業研究では、個別指導のもと研究計画書を作成し、計画に沿って研究を進め、論文作成・発表の経験を通して基礎的研究能力の育成を図る。

また、外国語運用能力を高めることを目的に、1年次は「ベーシック英語Ⅰ・Ⅱ」、2年次は「看護に活かすコミュニケーション英語」を必修とし、3年次は「医療英語」、4年次は「英文講読」を配置している。【ディプロマ・ポリシー4）に対応】

6) 地域で生活する人々の健康問題と看護、災害看護に関する科目として、1年次より早期に「地域活動論」「地域包括ケア論」を配置し、2年次では地域・国際的な健康ニーズを理解するために、「保健統計学」「疫学」を配置している。また、「災害看護論」「災害看護活動論」を配置し、予期せぬ事態に備えた災害時の地域・保健医療福祉との連携・協働の基礎を学修する。4年次ではそれらをふまえ、新潟県へき地（山間部・離島）の生活環境を理解し求められる看護の役割を学ぶ「へき地看護論」を配置している。

国際的視野では、グローバル化する看護職者の活動の場で役割を担うために4年次に「国際ボランティア論」を配置する。さらに海外研修を企画し、国際的視野を獲得できるようにしている。【ディプロマ・ポリシー5）に対応】

実施の基本的考え方

- 1) 低学年次では、基礎的教育科目と専門基礎科目を配置し、看護師としての基礎的知識・学力を身につけさせ、高学年次では、看護師としての専門知識や技術等を身につけさせる専門科目を配置する。同じく高学年次での臨地実習などにより総合的な実践力を身につけさせる。
- 2) 実施にあたっては、科目内容の修得に適した講義、演習、実習等の形態をとる。また、ルーブリック評価の導入により、学生の学習理解度の向上につなげる。
- 3) 成績はディプロマ・ポリシーを踏まえた各科目の達成目標の到達度に基づき評価する。